

59 明治8年1月4日 菊池長閑宛

第一号 一月四日書ス

(長閑注記1)

新年之御吉慶愛度奉申上候皆様益御壯剛ニテ御迎春可寄之御事に候随て私無異超歳仕候間憚ながら御高枕被成下度奉願上候昨年とハ変り一日より天氣清朗ニテ実ニ快キ正月ニ御座候併明まして寛やかとハ昔之事今ハ寒前の一月ニテ年明て敵と申さずハ成間敷候電線ニテ凧揚ハ六ヶ敷故か当年ハ別て羽根衝ハ沢山ニ御座候散髪之万歳ハ愈笑し学校ニテ鴨雑煮とハ実ニ思の外なり橋場邸ニテ塩引の湯煮御吸物なりを賜ハ簡ニして經濟の為なるへし北口免職の噂ハ一年半前有たれと今更矢張失望なるへし三十一日山本寛次郎ハ被雇と之咄あり本宿ハ長崎まで帰航近日当地に來へし那珂通世ハ福沢に被願大坂の慶応義塾エ今六日出立西洋風の門松大流行なり先即今ハ太平の様に見得候へ共時を待の不平徒ハ減せず今の参議連ハ復割れるかも不知民権主張家

ハ愈多かるへく随而民選議院の説盛ンに興へし余ハ永陽を祈候
頓首

御尊父様

武夫拜

御座下

(長閑注記2)

(長閑注記1)

(朱書)

「明治八乙亥年」

(長閑注記2)

(朱書)

「明治八年一月四日附第一号

返事此方第一号ヲ以一月廿六日出し」